

王将フードサービス (コード 9936・大証 1 部 [100 株])

業績推移(連結)

(予想数値は会社発表分。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率		伸び率	純利益	配当		
07.3	47,206	+3.1	5,236	+4.5	114.6	25.0	21.8	11.1
08.3	49,767	+5.4	5,250	+0.3	124.3	35.0	28.2	10.5
09.3(予)	52,846	+6.2	5,439	+3.6	132.8	35.0	26.3	10.3

ギョウザを中核とする大衆中華料理店チェーン

特色...「ギョウザ」をメニューの中核に据えた大衆中華料理店チェーンで、幅広い顧客層を獲得できる“中華”業態、高いリピート率と多様な立地で出店可能な“日常食”業態であることが強み。05 年 7 月には、国外で初めて「餃子の王将」を大連市内(中国)に開店。08 年 3 月末現在の店舗数は 508 店(直営、FC 合計。中国大連の 3 店を含む)で、このうち約 60%が関西地区(302 店)で占められている一方、関東地区、東海地区への出店も拡大。中でも開拓余地が多く残っている関東地区での出店を積極化している。08 年 3 月期から中間配当を実施。

既存店の堅調から 08 年 3 月期は増収増益に

既存店売上が 2.2% 増に...08 年 3 月期は、新規出店効果や既存店売上の堅調な伸びなどが寄与し、売上高は 07 年 3 月期比 5.4% 増となったものの、食材価格の高騰や人件費・減価償却費などの増加から営業利益は 52 億 3,700 万円(07 年 3 月期比 2.2% 減)に。経常利益については有利子負債の圧縮などから同 0.3% 増と若干ながら過去最高を更新した。期中の新規出店は直営 13 店、FC7 店で、FC から直営への移行が 1 店、退店は 8 店(直営 1 店、FC7 店)。既存店売上高(直営店)については同 2.2% 増(前期:0.8% 増) 既存店客数も同 2% 増(前期:0.5% 増)と、外食業界全体が苦戦する中、同社では好調に推移。また、積極的な店舗改装を 20 店で実施した。なお、07 年 7 月の川崎駅東口店(神奈川県)オープンをもって、500 店舗を達成している。

新規出店寄与などで 09 年 3 月期も過去最高経常益へ

増収増益予想...09 年 3 月期は、売上高が 6 期連続増、経常利益は 8 期連続増の見込みで、前期に続いて過去最高業績を更新しそう。投資効率や販売促進活動の有効性を十分に検討し、既存店の活性化を図りつつ、新店効果による業績拡大を目指す。年間配当は 35 円を予定している。

既存店売上高は前期比 2.1% 増へ...会社側では今期の既存店売上高(直営店)を前期比 2.1% 増と想定。今期に入ってからの月次での既存店売上高は、4 月:1.1% 増、5 月:5.4% 増、6 月:0.3% 増で、4~6 月では前年同期比 2.2% 増と、堅調な動きとなっている。世界的な穀物価格の高騰に伴う小麦粉、豚肉、食用油などの価格上昇の影響が予想され、同社でも主力メニューのギョウザ(餃子)を今年 5 月 1 日から 1 人前 20 円(税込み 21 円)の値上げに踏み切ったほか、持ち帰り容器代の一部顧客負担を今年 2 月より実施しているが、他のメニューについては価格を据え置く方針。通期の新規出店(国内)は 23 店(うち直営 17 店、FC6 店) 退店 3 店を計画しており、中国大連を含めた 09 年 3 月期末の店舗数は 530 店(前期末比 22 店の純増)の見通し。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。